



題字 小川 東州

社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部

〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6 ストークマンション札幌308号
TEL&FAX 011-736-2333

北海道支部会報「すすらん」発刊に あたってのご挨拶

この度は、支部会報「新生すすらん」の発刊にあたり、支部の方針などをお伝えしたいと思います。

本年4月1日に支部がスタートし、支部総会も終わりいよいよ本年度の事業がスタートいたしました。

支部の活動は、従来の札幌地区・旭川地区の会員組織の活動から、社団法人日本産業カウンセラー協会の中で北海道地区を担当する役割と変化します。それは北海道という広大な地域を視野に入れ、長期的な展望にたった活動が求められることでもあります。

今後は北海道全体を意識し事業を進めていきます。

協会本部の本年度方針に基づき、北海道支部としての方針

- 1) ころの専門化集団としての社会的な知的集団をめざす。
- 2) 会員のカウンセリングマインド・カウンセリングのスキルアップをめざす。
- 3) 産業社会との連携・社会的貢献活動を推進する。
- 4) 機能的で効果的な組織運営をめざす。

以上4点を具体化し取り組みます。

景気が回復してきていると伝えられている昨今ですが、北海道では好実感に乏しく、働く人々の環境は決して改善されてはいません。このような状況でころの専門家集団として私たちは、何を求められ、何ができるのでしょうか。

それは、会員ひとりひとりのカウンセリングマインド・カウンセリングスキルをあげていくことではないでしょうか。そのためには、皆様の日々の努力とともに支部としての研修システムに則り、真摯で継続的な学習を続けていくことだとおもいます。実力のある産業カウンセラーを輩出することが、社会に貢献していくことになるのではないのでしょうか。また、今までのジャンル以外でも求められる場が(地域・福祉など)あるのではないのでしょうか。ころの専門家集団として、これまで以上の認知をうけていくために、努力をしていきましょう。

昨年の当地開催の全国研究大会が大会に先鞭をつけ、「会員主体の研究大会」へ変化させたこと、そして今でも、北海道の会員のあたたかさが全国的に評価されております。あのように大きな体験を共有した多くの会員の方々、そして新会員のかたとともに、「あたたかい充実した会員のための北海道支部」実現のために進んでいきたいと思ひます。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



北海道支部長
桑原 富美恵

支部通常総会が開催されました



▲通常総会のようす

6月26日(土)、「札幌コンベンションセンター」(札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)において、本部から高橋弘武常務理事をお迎えし、『第1回日本産業カウンセラー協会北海道支部通常総会』が開催されました。

通常総会は、二本柳貴夫相談事業部長の開会宣言のあと、定足数の確認作業が行われ、5月31日現在の正会員数207名のうち、総会出席者(会員本人)37名、委任状提出者113名、合計で150名の出席となり、支部規程第15条に基づき、

正会員数の過半数の出席が確認されたことにより、総会が有効に成立していることが報告されました。

これを受けて総会は予定どおりに進められ、初めに、桑原富美恵支部長から開会にあたってのあいさつ及び支部設立についての経過説明がなされ、引き続き、支部規定に基づき、議長に桑原支部長を選出、議事録署名人として村井美紀子さん並びに植田静子さんを選任し、議事が進行されました。

今総会の議事案件は、本年、3月27日(土)に開催された支部発会式で、支部規程等が承認されていることもあり、平成16年度の事業案及び収支予算案の2点についてのみでしたが、審議にあたり、松木照美総務部長より事業計画(案)及び収支予算(案)について、配付資料に基づき、各項目にわたって説明が行われました。

本議案につきましては、樋口治子さんから繰越金と次年度以降の予算編成面についての質疑が出されましたが、松木総務部長から、繰越金が多くなったことについては、当初、予定されていなかったものとして、平成15年度において札幌市で開催された全国大会の費用の一部及び支部化に伴う経費の一部が共に本部から補助されたことによるものであること、また、平成16年度においては、単年度支出が単年度収入を上回る予算案となったのは、支部化一年目であることに伴う経費としての膨らみであり、次年度以降は通常予算に戻る旨の答弁がなされ、承認が得られました。

次に、報告事項として、松木総務部長が、平成15年度における札幌部会及び旭川分会の事業報告と決算・監査報告の説明を行い、総会が終了しました。

総会終了後、本部高橋常務理事から「これからの協会活動の課題と展望」というテーマで、約一時間にわたり本部報告が行われました。

報告では、

- ①支部化の意味と協会活動の変革期についての理解促進
- ②“心の専門家”集団として求められている背景
- ③協会として果たすべき役割
- ④産業カウンセラー育成事業の改革の実現
- ⑤事業推進のための戦略的方針の構築



▲本部報告を行う高橋常務理事

⑥調査・研究分野の活動の発展

⑦機能的で効果的な組織運営

などについて、詳細かつ理解しやすいように噛み砕いたお話しをいただき、参加された会員の皆様には熱心に耳を傾けるとともに、身近なものとして実感し、これからの協会活動への期待感と、そこに参加していくという決意が伝わってくるようでした。高橋常務理事ありがとうございました。



▲進行を務めた二本柳相談事業部長

総会出席者の声

7

雇用環境が厳しい中で、働く人々のメンタル面及びキャリアに関する難問が山積しており、当協会が果たす社会的使命は、今後、ますます重要になると考えられることから、地域における支部活動の参考とすることを目的として、総会出席者の声をアンケートによりお聞きしました。

アンケートは、無記名式で任意回答とし、出席会員に配付させていただきました。配付数は35枚で、うち回答が26件、回収率は74.3%となりました。

2

結果
「事業計画」については、

①よい10件

②まあよい11件

③ふつう4件

NA 1件

という結果になり、支部として初めての事業計画は、地域における活動としてほぼ適切との評価をいただいたようです。

また、「支部の活動や総会に出席しての感想」などの自由記載欄では、『参加者が少ない』が5件と多く、参加者増への対策の必要性が指摘されました。



また、『産業界へのアピールについて早急にプランを』、『産業カウンセラーの実践力の強化を』との課題提起のほか、『高橋常務理事のお話しは本部の動き（変化していく）が見えてよかった』との声や、『北海道支部にて皆様と一緒に活動できれば』との嬉しい声も寄せられました。その他の項目も含め、今後の支部活動、通常総会の開催等の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

キャリア・コンサルタント講座開講

平成16年度におけるキャリア・コンサルタントの試験は、8月28日(土)に札幌男女共同参画センター(エルプラザ)で行われますが、これに先立ち、5月15・16・29・30日の4日間にわたり講座が開講されましたのでその状況をお知らせします。



かでの2・7で行われた講座には、道内はもとより道外からも参加者があり、全体で42名が受講、41名が実技試験免除となる修了証を手に入れました。

講師には宮城まり子先生、衣川光正先生をお迎えし、キャリア実務についての理論と演習を中心に実施いただきました。オリエンテーションで「この講座は試験対策ではありません」と発表されると受講生からため息がもれましたが、より実務にそった充実した4日間であったと感じています。

理論はもちろんのこと、キャリアの棚卸しや他の人のキャリアを説明したり、職業興味テストの実施など受講生が相談者の立場を体験することにより「気持ち」を思うことができたのは、それぞれに貴重な体験になったのではないのでしょうか。

また、職業紹介の実習ではグループで話し合い、第3候補まで発表しましたが、各グループで選び方の基準や着眼点が異なっていたのも興味深く、一方向からだけではなく、多角的に捉えることの大切さを感じました。

面接実習では、傾聴は出来ているものの、次のアプローチをどう取れば良いか迷う受講生が多かったようです。初級産業カウンセラーの実技から一步踏み込んだ「技術」が要求される場所なのでしょう。

常に「新しい出会い」とのことで、実習するメンバーが変わり、多くの人と話す機会が与えられたことにより、受講生同士の交流も広がったように感じた4日間でした。



リラックス タイムコラム ①

心がへこんだ時にオススメのハーブティ



その香りで心の元気を取り戻してくれるハーブ。香りだけではない効用にも注目し、ゆとりの時間を過ごしてみませんか？

オランダ語で「大地のリンゴ」の通り、葉も花もリンゴの香りがするカモミールは、強壮、鎮静、美容と多くの効果を誇る薬草です。このカモミールに気分を安定させてくれる紫色のマローをプラスした「カモミール・マローティ」は、レモンを入れると色の移り変わりも楽しめます。

出した後のカモミールは、ティパックに入れお肌をパッティングしましょう。夏の陽射しでトラブルを抱えたお肌もリフレッシュ。また、目の上にそっと置いて静かにしていると、気持ちの良さとその効果で、コンピューターで疲れた目もスッキリします。

ストレスが多くなるとビタミンCが不足しがち。「ハイビスカス・ローズティ」は、ビタミンCを補給し心身共に疲れを取ってくれ、鮮やかな真っ赤な色は元気もくれます。

ハーブティは、水と入れ方が命。新鮮ウォーターの熱湯をガラスか陶器のポットに注ぎ、ティカップに入れましょう。

自分勝手にブレンドして気軽にハーブティが210円で楽しめるのが「ゆにガーデン」内のカフェテリア「バジル」。その後英国風の広ーい庭園で深呼吸すれば、すっかり元気回復です。

(監修) ゆにガーデン井上幸子園長

会員のこえ



「新生すずらん」の発刊にあたり、「北海道支部設立に際し想うこと」と題して、会員の中島智子さんが寄稿してくださいました。

2004年4月に本部の指導の下、「産業カウンセラー北海道支部」が設立を迎え、動き出しました。2003年初頭から、各関係者の方々には大変なご苦勞の中、無事にこの日が迎えられる事をお祝い申し上げますと共に、地方に在住する初級産業カウンセラーの一人として、今後の展開に多少の不安を感じています事をお知らせしたいと思います。

1. 会員のための組織作り

利便性や会員数を考えると、札幌に集中する事は致しかたないと思いますが、地方の開拓と会員の掘り起こしなど広い視野と行動力を伴った組織運営が成されることを望みます。北海道第2の都市と言われている旭川でさえも、人口は札幌の五分の一であり、企業の進出や文化・芸術の到達性も低く、だからこそ会員離れのないような魅力と実績の伴う市民普及講座や研修会・相談会の開催を、地方在住の会員を使って運営して欲しいと願います。

2. 実践力強化と会員交流

カウンセラーと称する職種が巷には山ほど広がっていますが、不況の世の中であればこそ、産業カウンセラーの必要性・重要性は高く認知されつつあると思います。養成講座は修了し、資格はとったけれど…という事が少なくなるように、カウンセラー市場の開拓と斡旋を強化し、需要に際して供給がバランス良く行われるような社会へのアピールも支部になってやり易くなるのではと思われます。それぞれの会員の特徴を把握して足りない部分を補い合い、相互の信頼関係の基にカウンセリング業務に携われるような指導を希望しています。また、会員間のネットワークを整備していく事も将来の発展の礎になっていくと思われます。

北海道は広く、札幌に出るのも一日がかりという会員も居る事でしょう。時間と距離のやりくりは会員本人のやる気の問題と言われてしまえばそれまでですが、地方での学習意欲がそがれる事の無いような方向を忘れてほしくありません。

3. 研修の充実

産業カウンセラーの実力の向上を図るには、学習・研修の場が多くあるほど有難い事だと思います。会員数が多ければ様々な職種で活躍されている方が存在するでしょう。全体で論ずる事と同時に、特徴的なグループ作りを奨励して、そこでの学習会に参加できるようなオープンな体制を整えていただければと思います。

自己研鑽に繋がり、参加者との交流からまた新たな出会いが生まれるかも知れません。それぞれが自分の目指す道を見つける事が出来る一助になればと思います。

以上、取りとめも無く書き連ねて参りましたが、初級産業カウンセラーの一人として、活躍したい気持ちは高く持ち続けております。現在は旭川では活動休止の状態、このまま錆び付いた自分でいたくはありません。

一日も早い支部のスムーズな運営と各地での研修会の開催を熱望しております。

各部からのお知らせ

総務部

1. 会計管理（幹部・各部活動、内・外部依頼並びに派遣に関係、本部事業関係、税金その他事務所維持費関係、依頼先等への請求事務）
2. 文書管理
3. 連絡調整業務（会員、本部・各支部、関係機関、など）
4. 会員の入退会・異動に関する業務
5. 各種試験の実施に関する業務
6. 向上訓練の実施に関する業務
7. 備品管理

以上が総務部の主な業務となっております。

事務所では月曜日～金曜日の9:00～18:00まで、事務職員の山田美由紀さんが通常業務をこなしながら、会員は元より外部からの問い合わせに対応しております。

養成講座募集開始前後には、申し込みや問い合わせの電話が殺到し、昼食時間もままならない状態でしたが、それも一段落し支部への移行業務も終わり、今は束の間の静けさと言ったところです。

支部通常総会を経て支部の行事も本格的に始まります。協会並びに支部の行事につきましては、事前にそれぞれ会報に詳細が掲載されますので良くご覧のうえ、ご参加お申し込み下さいますようお願い致します。

なお、行き届かない点につきましては、会員の皆様方の暖かいご支援等を頂きながら抛り良い業務の遂行に心がけていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

養成講座部

平成16年度の「初級産業カウンセラー養成講座」は、4月11日から受講者60名で開校しました。受講者は男性25名・女性35名、平均年齢41.2歳、函館・釧路・留萌など全道各地から通学されています。今年の養成講座の特徴は、カリキュラムや時間数は昨年までと同じですが、テキストや試験名から「初級」が除かれたことです。それは、「傾聴を基本として問題解決までの個人面接が出来るカウンセラー」を求

められているからです。7ヶ月間の受講期間で解決まで導くことができるカウンセラーを目指して学ばれている受講者のみなさまも大変でしょうが、サポートする実技指導者の役割と責任がますます大きくなりました。例年、慢性的な実技指導者不足で悩んでいましたが、今年度は積極的な指導者が集まり、「厳しさとやさしさ」の中で、研修・研鑽に励み、より良い養成講座をめざしています。

事業推進部

こんにちは、事業推進部です。事業推進部は部長を含めて5名で活動しています。札幌部会当時から事業委員会として組織されてきましたから、歴史的には長く活動していることとなります。当時から、会員向の活動と会員外に向けた活動という柱があって、主に会員外に向けた活動を行なうことを目的に話し合いをしていました。北海道支部となって事業部に移管されてからの活動は、公開講座の企画実施と要請に応じて講師派遣を行

なうことが主となっております。

ところが、ここ数年の急速な需要の高まりに対応しきれず、講師派遣については総務を中心にいわば対症療法的にこなしてきているのが実情で、これらの環境整備が当面の課題となっております。目立たない地味な活動ですが、これからの基礎になる重要な部分ですので、部員一同力を合わせてやっていきますので、ご指導よろしく願いいたします。

会員研修部

会員研修部は、会員の研修については、次の三つの基本的な目標を掲げて活動を推し進めていくこととしております。

- ① 産業の場に通用し、社会ニーズに貢献でき

る人材の育成

- ② 会員一人ひとりの啓発・研鑽の場になり、スキルアップを図る
- ③ 協会方針を尊重した普及啓蒙・推進のリー

ダー（牽引者）の育成
今年度の研修計画は支部化等でスタートが少し遅れていますが、現在、精力的に実施に向け調整を図っていますので、皆様の参加をよろしくお願いいたします。

現時点での研修計画概要は次の通りです。

- 定例研修 ◆カウンセリング実践演習等年間3～4回（札3回、旭1回、日時・講師未定）
- 特別研修 ◆キャリア関連講座1回（日時、講師未定）
- ◆認知行動療法パートⅡ（①9/29②10/6③10/13各18：30～20：30 坂野先生）

○専門研修

- ◆認知行動療法入門コース（①12/1②12/8各18：30～20：30 坂野先生）
- ◆支部認定「カウンセラー養成研修」1～2日間（8月予定：受講条件あり）
- ◆支部認定「講師養成研修」6日間（11月～1月予定）

相談事業部

相談事業部はちょっと特異です。一般会員がストレートにかかわるのではなく、支部が受注する相談事業に携わる認定カウンセラーだけが属しているからです。現在、22人が8つの相談事業に取り組んでいます。

7月4日、現状や問題点、課題などについて話し合いを持ちました。その結果、担当する相談事業の「認知度の低さ」を強く感じていることが共通の問題点として浮き彫りになりました。カウンセリングに対する「偏見」もいまだ

に広く潜在していて、それが気軽に相談に来れない「壁」になっている現状も報告されました。カウンセラーのスキルアップのため毎月1回開くCST勉強会は今後、事例検討のほかに「ライブ」でより一層の磨きをかけることで意見が一致しました。

新たなカウンセラーの認定研修を早期に開催するよう、会員研修部をお願いしています。一人でも多くの会員が私たちの仲間に加わることを期待しています。

広報部

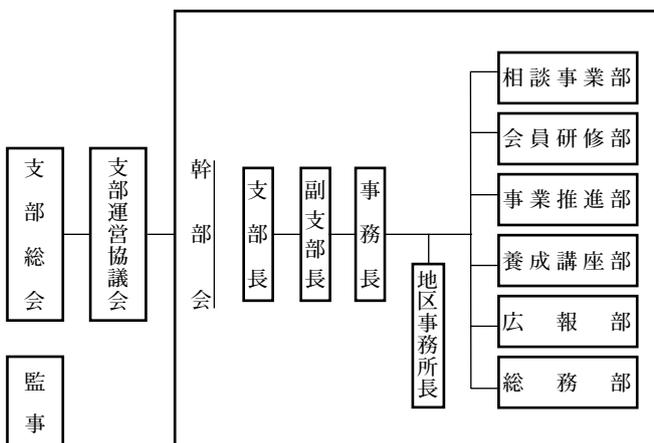
広報部はスタッフ4名でスタートを切りました。少人数ではありますが、会員の皆様から『毎回の発行が楽しみ。』と言っていただけるような紙面作りに心掛けたいと話しているところです。今後、広報誌は奇数月に発行することとしており、年6回、皆様の元にお届け出来ると思います。内容につきましては、各部及び地域事務所の活動状況や皆様方の声を中心としつつ、関係機関等の情報、向上訓練、各種講座等のお知らせ、参考図書を紹介、リラクセスレシ

ピ等の記事を盛り込んでいきたいと検討しています。つきましては、広報誌作りを共に分かち合うという観点からも、皆様方からの寄稿は大歓迎ですので、紙面作りにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

また、今年度はホームページの立ち上げも予定しておりますが、まだ、今後の検討課題であり、こちらの詳細については、後日お知らせしたいと思います。お楽しみに！

北海道支部組織図

(H16.5.31現在)



支部運営協議会 運営協議員・監事一覧

◎ 運営協議員

・桑原富美恵(支部長)	・井澤 敦子	・二俣 美幸
・岡下 文一(旭川事務所長)	・大畑 薫	・山村 弘美
・松木 照美(総務部長)	・川岸利枝子	・皆川 糸みこ
・佐藤 篤輝(広報部長)	・清水 秀明	
・吉田志津子(養成講座部長)	・田原 博美	◎監 事
・十川 秀逸(事業推進部長)	・寺西 良夫	・池田 良子
・大嶋 弘道(会員研修部長)	・對馬 真智子	・佐藤 直美
・二本柳貴夫(相談事業部長)	・永井 義信	

よろしくお願いいたします。

平成16年度の支部運営スタッフです。今年度は支部化1年目ということで、会員が一体となった運営が特に求められると思います。何かと難しい時代ではありますが、一人ひとりが協調していく中で、望ましい支部作りに努めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

行事等のお知らせ

◎試 験

キャリアコンサルタント試験（筆記）

日 時 8月28日（土）
会 場 札幌男女共同参画センター
エルプラザ

◎向上訓練

A1コース（通学）

日 時
9月18日（土）産業心理学
北島 茂樹（産業医科大学助教授）
9月19日（日）人事労務管理
桐村 晋次（法政大学教授）
9月20日（月）調査研究法・教育指導法
坂柳 恒夫（愛知教育大学教授）
定 員 30名
申込締切 7月31日（土）
受講費用 39,000円
※ 詳細は、本部6月号会報に掲載されて
おります。

演 習1（通学）

日 時 10月9日（土）・10日（日）・11日（月）
講 師 渋谷 武子（当協会講師）
森川 千鶴子（当協会講師）
定 員 20名
申込締切 9月17日（金）
受講費用 39,000円
※ 詳細は、本部会報7・8月号に掲載さ
れる予定です。

◎研 修

認知行動療法パートII

日 時 9月29日（水）・10月6日（水）・
10月13日（水）
各18：30～20：30
講 師 坂野 雄二（北海道医療大学教授）

認知行動療法入門コース

日 時 12月1日（水）・12月8日（水）
各18：30～20：30
講 師 坂野 雄二（北海道医療大学教授）
※ 研修予定については、別紙をご覧ください。

◎そ の 他

フォーカシング・ワークショップ

日 時 10月30日（土）・10月31日（日）
講 師 大澤 美枝
（NYフォーカシング研究所認
定コーディネーター）
定 員 各日20名
申込締切 先着順
受講費用 30日：8,000円、31日：10,000円
※ 申し込み及び詳細のお問い合わせは、
上村英生氏まで。
〔 携帯電話 090-8903-3002、
Mail:kamimura.hideki@doshin-news.net 〕

編 集 後 記

何とか、支部設立後第1号の「す
ずらん」の発刊にこぎつけました。
各々が仕事を抱えているスタッフで
はありますが、会員皆様が開かれた
会報誌であるとともに、対外的な広
報としての内容も盛り込み、親しみ
のあるものにしたいと話し合ってい
ます。2ヵ月ごとの発行となります
が、スタッフ一同、皆様方の声を出
来だけ多く掲載したいと意気込ん
でおりますので、ご意見・各種の情
報等を多数お寄せいただきますよう
お願いします。（OGG）

※ 8月11日（水）～13日（金）は、事務所の夏休み（恒
例）となりますので、問い合わせ等は、8月16日（月）
以降にお願いします。